

'15.9

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工会連合会
代表者 木南岩男
発行人住所 神戸市中央区花隈町6番19号
☎078(371)1261(代)☎650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 足立 誠
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植
会員の購読料は会費に含んでおります

第697号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成27年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲三田の里山に佇む酒蔵「岡村酒造場」平成27年3月に兵庫県景観形成重要建造物に指定。

Contents

■ 県連合会Letter 2~3頁

- ・第1回管理者研修・事務局連絡会議
- ・商工会理事・金融審査委員合同研修会
- ・平成27年度若手後継者等育成事業研修会
- ・第2回チーフコーディネーター研修連絡会

■ あなたのまちの元気な企業(三田市) 4頁

■ 商工会Letter 5~6頁

- ・オープンイノベーション……(新温泉町)
- ・ソーシャルメディアの特性について
- ・商工会が初めて取り組む中期計画(篠山市)
- ・西播磨地域商工会合同企業説明会

最近では、ホームページからの問い合わせがきっかけで、イタリアへ純米酒「三田壺」を出品するなど販路も拡大しつつある。(詳細は4頁)

江戸末期に建てられた茅葺き屋根の母屋と酒蔵は、今なお酒造りに使われ続けており、平成27年3月20日に兵庫県知事から景観形成重要建造物に指定された。ホッと落ち着く里山に赴きのある酒蔵があり、利き酒ができることもあって市内外を問わずお客様が来られる。

文久元年、兵庫県有馬郡高平村木器にて、初代岡村幸平は醤油醸造、2代目岡村栄吉から酒造業を創め、現在、5代目岡村隆夫に至る。古くは、「山草正宗」と銘じていたが、大正10年に「千鳥正宗」と商標を改めた。

里山の酒蔵の取り組み
岡村酒造場
(三田市)

人事評価のあり方等を研修

第1回管理者研修・事務局連絡会議

県連合会は7月23・24日の両日、姫路市の「夢乃井」において第1回商工会管理者研修会及び事務局連絡会議を開催。参加者は28人であった。

研修会では、県連合会・宮地事務局長が、職員の人事評価をテーマに基本的考え方と具体的な評価手法等について話をした。

続けて、大阪国税局課税第一部個人課税課長補佐・吉久亜希子氏が、「マイナンバー制度の概要と税務」について解説。今後国民一人一人に示されるマイナンバーの取扱いに係るガイドライン等について理解を求めた。

また、兵庫県産業労働部政策労働局産業立地室からは立地班長・狭間昭宏氏が出席し、「兵庫県の企業立地支援制度」について説明を行った。

管理者研修の後には事務局連絡会議を開催し、当面の県連事業等について各課からそれぞれ説明とともに出席者との意見交換を行った。

2日目は、「株式会社香寺ハーブ・ガーデン」の夢前工場を訪問し、視察研修を行った。

同工場は廃校となった旧山之内小学校を同社が再利用。世界基準のハーブの研究とともに多様な製品化をめざす施設である。

同社代表取締役の福岡譲一氏は、若い頃からハーブに取りつかれ、世界を見て歩いた末に同社を創業。ハーブに関しては、我が国でも有数の存在である。

当日は、福岡社長から、自治会をはじめ各機関・団体等と連携して地域創生にかける「ヒポクラテスピレッジ（農と医と職の融合）」と「姫路市山ノ内地区博物館（西の軽井沢）構想」についての熱い思いをお聞きした。

商工会理事・金融審査委員 合同研修会を開催

兵庫県商工会連合会は7月9日、10日の2日間、「西村屋ホテル招月庭」（豊岡市）で、商工会理事・金融審査委員合同研修会を開催し、県下商工会の理事・金融審査委員等106人が出席した。

本研修会は、商工会の金融審査能力向上と指導体制を整備するため、毎年、金融審査委員を対象に研修会を実施してきたが、

昨年6月に小規模企業振興基本法の制定や小規模支援法の改正等により、商工会は経営発達支援計画を作成し国から認定を受けなければならないなど、小規模事業者へ寄り添った伴走型支援が求められるようになった。

また、消費税増税や外国人旅行者向け消費税免税制度の拡充、マイナンバー制度がスタートす

る等、中小企業・小規模事業者等にとって経営に大きく影響する施策が実施されるなど、これからの商工会の指導体制や運営等について理解を深めるため、商工会理事と金融審査委員合同で研修会を開催した。

来賓には兵庫県但馬県民局長の岩根正氏、豊岡市副市長の真野毅氏が臨席し挨拶をいただいた。

研修1日目。研修1は、兵庫県立大学経営学部教授の西井進剛氏を講師に招き、「地域創生」をテーマに、地域における商工会の役割について講演を賜った。

続いて、研修2は兵庫県信用保証協会経営支援室創業・経営支援課長の按田茂郎氏から、「協会の現状と各種制度等」について説明、研修3では、「マル経融資の現状と日本政策金融公庫各支店管内の状況」について、日

本政策金融公庫事業統轄（各支店から6人）より説明があった。また2日目、研修4として、県連合会・宮地事務局長から、「商工会役員のあり方」と題し、会員事業所、地域の発展に向け商



▲兵庫県立大学教授 西井進剛氏による講演

工役員の果たすべき役割について説明があった。

研修5は県連合会上山主任チーフアドバイザーから「経営発達支援事業」についての説明があり、研修6は税理士の森崎淳一氏から、「外国人免税店制度」と、本年10月から導入される「マイナンバー制度」について講演があった。

2日間の研修で参加者からは「各組織の現状を知ることができた」「今後の開催にも期待をしている」などの声があり、参加者にとって有意義な研修会となった。

国勢調査 2015

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とした調査です。

スマート国勢調査!

みなさまの、ご理解・ご協力を よろしくお祈りします!

みらいちゃん センサちゃん

国勢調査コールセンター
0570-07-2015
IP電話の場合：03-4330-2015

設置期間：平成27年8月24日から10月31日まで
受付期間：午前8時～午後9時
(土・日・祝日もご利用いただけます)

※おかけ間違いのないようご注意ください。
※ナビダイヤルの通話料金は、一般の固定電話の場合、全国一律に市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHSの場合、それぞれ所定の通話料金となります。
※IP電話用電話番号の通話料金は、所定の通話料金となります。

国勢調査2015キャンペーンサイトにて
スペシャルムービー公開中!!

くわしくは 国勢調査2015 検索
<http://kokusei2015.stat.go.jp/>

国勢調査をもよおした「かたり調査」にご登録ください。
調査員は、「国勢調査員証」を身に付けています。不審に思われた場合には、市区町村の国勢調査担当までお問い合わせください。

総務省統計局・都道府県・市区町村からのお知らせです



▲新たな思考力について学ぶ参加者

商工会青年部・女性部の パワーアップを目指して

平成27年度若手後継者等育成事業研修会

7月15日、県商工会連合会は「平成27年若手後継者等育成事業研修会」を開催。各商工会の青年部・女性部担当者等21人が参加した。

当日は、「中小企業大学校が考える補助金・助成金の基本的な考え方について」中小企業大学校関西校 榎山昭信氏（中小企業診断士）から講義があったのち、アイデア発想力・企画力の向上を目的とした研修会を開催

した。

講師に創客営業研究所 代表 木村尚義氏を招き「思考体幹力アップ」を目的にラテラルシンキング研修会を開催した。

ラテラルシンキングについて説明を受けた後、グループに分かれ、今回、学んだ新しい思考について意見交換と発表が行われるなど、今後の事業を考えていくきっかけの一つとなった。

平成27年度 第2回チーフコーディネーター研修連絡会 先進地交流視察研修

7月31日から8月1日にかけて、経営革新への取組み先進商工会の現場の声を聴きたいと16人のチーフコーディネーターの参加で九州方面へ訪れた。

初日は、昨年の商工会全国大会において21世紀商工会グランプリ受賞（4年連続経営革新認定数日本一）された春日市商工会（福岡県）と、広域指導の先進地となる佐賀県商工会連合会を訪問した。

2日目は、経営発達支援計画

にも盛り込まれ販路開拓のひとつの手段となるアンテナショップを各商工会の実情に合う農産物販売型・海産物販売型・観光型を選択し視察を行った。

参加者から、「ここ数年の研修は、班編成で討論し発表するお決まりのパターンとなっておりやや食傷気味となっていた。本研修は実際に現場を訪れ、資料にはない苦労話等聞くことが出来、大変勉強になり、記憶に残る研修になった」との感想を聞くことが出来た。

経営者と従業員のための全国商工会休業補償制度

商工会の休業補償プラン

所得保障保険団体契約（天災危険担保特約付）

【特徴】

- ① 一般保険料に比べ割安（団体割引）
- ② 最長1年間のロングサポート（免責7日間）
- ③ 自宅療養中もサポート（医師の治療を受けていることにより全く働けない場合）
- ④ 24時間いつでもサポート
- ⑤ 加入時の医師の診査は不要
- ⑥ 家事従事者の方も対象に（入院時のみ補償）
- ⑦ 地震、噴火またはこれらによる津波によるケガもサポート

【保険期間】

平成27年10月1日から1年間

【加入資格】

- * 全国商工会の会員事業所の事業主（法人の場合は役員）、従業員の方。
- * 上記事業主、従業員の配偶者である専業主婦（家事従事者）の方。
- * 加入年齢については、各商工会へお問い合わせください。

【引受保険会社】

東京海上日動火災保険株式会社・株式会社損害保険ジャパン・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

～お問い合わせは各商工会まで～



▲朝10時の開店と共ににぎわうアンテナショップ 福岡県福岡市天神にある「八女本舗」

ジブラルタ生命は、
お客さま一人ひとりを大切に
心に届くサービスをご提供いたします。

“As safe as the Rock”
～ジブラルタ・ロックのように安心～

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています

9月のこよみ	10月のこよみ
■ 4日(金)～5日(土) 商工青年同友会研修会	■ 5日(月)・9日(金) 労務管理研修会
■ 9日(水) 管理職養成研修会	■ 6日(火) 全国大会実行委員会(青年部)
■ 16日(水)～17日(木) 近畿ブロック商工会青年部 交流研修会	■ 7日(水)～8日(木) 県女性連指導者県外交流研修会
■ 17日(木) 創業支援研修会	■ 19日(月) 第2回経営支援コミュニ ケーションスキル向上研修会
■ 28日(月) 事業委員会 全国大会全体会議(青年部)	■ 22日(木)～23日(金) 商工会幹部研修会
■ 29日(火) 女性部担当者研修会	■ 28日(水) 第2回新任職員研修会
	■ 30日(金) 近職協事例発表大会

あなたのまちな元氣な企業

岡村酒造場 (三田市)

ホームページを活用して世界に発信

三田市の里山にある酒蔵「岡村酒造場」

岡村酒造場の創業は明治22年。130年近くの歴史を持ち、現在では三田市唯一となった酒蔵。岡村酒造場がある三田市木器は、羽束山(524m)のふもとに位置し、日本の原風景と言える里山景観が広がる自然豊かな農村地帯。

「さんだ」の地名の由来は、市内にある金心寺の国指定重要文化財「弥勒菩薩坐像」の胎内にあった『恩田、悲田、敬田』の三福田を以って三田という」と伝えられ、古くから良質の稲作と深い関わりがあった。

このような自然環境に恵まれた土地で育った酒米と市内を流



▲隆夫さん(左)、理恵さん(右)

れる羽束川の伏流水を使用し醸造した「千鳥正宗」は味わい深く、こくがあるのが特徴。

明治の中頃には現在の三田市内で14軒の造り酒屋があったが、現在では岡村酒造場が三田市内で唯一酒造りの伝統を守り続けている。

江戸末期に建てられた茅葺き屋根の母屋と酒蔵は、今もなお酒造りに使われ続けており、創業から130年近くの歴史を刻み、歴史的・文化的な価値が高く、里山景観が広がる木器と調和し、茅葺き屋根は地域のシンボルとなっている。そのようなことから、平成27



▲酒蔵の隣にある販売所

年3月20日に兵庫県知事から岡村酒造場が景観形成重要建造物に指定されることとなり、より一層、里山に残る地元の酒蔵としての価値が高まっている。

ホームページが繋いだ三田市とイタリア

ある日、メールを確認してみると普段見慣れない英語のメールが届いていた。

イタリア在住のGOVANNI氏が、イタリアで「SAKE」を普及・販売するために、日本の酒蔵を探している中で、岡村酒造場のホームページを見つけ、問い合わせフォームから連絡を取ってきた。

幸いにもGOVANNI氏の奥様は日本人だったのでメールをやり取りすることができ、平成27年1月にGOVANNI氏がイタリアから来店し、「SAKE」について熱く語り合い意気投合。イタリアの試飲・販売会に純米酒「三田壺」を輸出することになった。

ホームページが無ければ、このような出会いが無かったと振り返る当主の隆夫さん。

このホームページは、隆夫さんの娘、理恵さんが自身で勉強し制作されたもの。



▲娘・理恵さんが制作したホームページ

「ホームページを作ったときは、手探りでどのように役立つかわからなかったが、こういった成果が出始めると、余計にやる気が出てきます」と理恵さん。ホームページを作っただけではなく、定期的にトピックスを更新して管理・運営してきたことや、海外での日本酒のブームなど、さまざまな要因が関連して、三田市の酒蔵とイタリアを繋いでくれた。

地域と共に歩む酒蔵

近頃は日本酒ブームと言えども、40年程前は全国で5,000件ほどあった酒蔵も、現在では1,000件程に減っている。

清酒の消費量は全体的に減ってきているのが現状で、社会環境の変化によるアルコール離れなど日本酒の役割も随分変化してきている。

「130年続く酒蔵を守っていかねければならない」ということにこだわるよりも、全体的な市場動向を見据え、お客様のニーズを素早くキャッチし丁寧に対応していくことが大事であると隆夫さんは話す。

現在は地域の人達の協力を得ながら、当主、自ら全行程を担っていることから、年間生産量も限られているが、お米の質も気候も毎年違うので、酒造りは毎年同じようにはいかない。毎年新しい出会いがあり、毎年のように微妙に味が違う。ここが手作りする酒蔵の面白さでもあり、むずかしさでもあると隆夫さんが話すように、毎年その味を楽しみにリピーターになるお客様も多い。

このような酒蔵の良さを生かしつつ、みんなで心のこもったお酒づくりを続けていく。

【企業概要】

企業名／岡村酒造場
代表者／5代目 岡村隆夫
創業／明治22年
所在地／〒669-1412
兵庫県三田市木器340
☎079-569-0004
URL／<http://www.eonet.ne.jp/~okamura-sake/index.html>

町会
温泉
新商工

地域・移住のための相談窓口〜労働環境対策事業〜
「オープンイノベーション」大阪で開催

新温泉町商工会（猪坂悦司会長）は10月3日（土）14時〜16時（13時45分開場）から、平成27年度労働環境対策事業としてオープンイノベーション「チエノワトークプロジェクト」を大阪市西区のハローライフイベントスペース内で開催する。

この事業は、県内で最も少子高齢化率が高い自治体の一つである新温泉町の若者移住・定住を目的に、昨年に引き続き2回目の開催となる。

オープンイノベーション「チエノワトークプロジェクト」とは何なのか？

大都市を除き、全国的な地域課題として少子高齢化により、後継者不足や地域に活力が無くなり問題となっている。そこで、若者呼び込みもと「地域おこし協力隊」や「ふるさと回帰事業」などで地域の生き残りをかけた施策が全国各地で行われている。しかしながら新温泉町では、受入に係る相談窓口等の設置が遅れており、十分な対応が出来ておらず、そのような状況で受け入れ事業を開始しては、

かえって希望者の混乱や不満を招きかねないと考えた。

そこでオープンイノベーション「チエノワトークプロジェクト」を通じ、地域移住を考えている若者に集まっていたいただき、地域の方を講師として招き、直接若者と意見交換を行うことで、地域の課題や方向性が見出せ、それらの課題解決を踏まえた施策づくりを行うことができる。

新温泉町も若者定住施策を始めたばかりで、先進地より周囲遅れでスタートするが、数年後には移住したい町ナンバーワンになれるよう、行政と連携して地域に活性化をもたらせるよう取り組んで行きたいと主催者は語る。



▲昨年のオープンイノベーション「チエノワトークプロジェクト」

ソーシャルメディアの特性について

〜情報発信支援員の活動事例から〜

本年2月にスタートした「情報発信支援員」は、半年間で県内約60人の会員企業に活用された。

今回は、企業での導入が進むソーシャルメディア（ブログやSNS、動画共有サイトなど）の特性にスポットを当てる。

スマートフォン普及とともに、SNSや動画共有サイトの利用者も年々増加し、Facebook利用率は30代のスマートフォンユーザーで42%、20代で57%と若い世代の半数近く、LINEは20代の80%が利用しているという調査結果がある。（総務省平成25年度調査）

ソーシャルメディアを通じて、今の若い世代にうまくアプローチすることが、これらの売上げ増加には欠かせないツールとなってきた。

SNSでは、利用者と相互に「良い関係を築く」ことが重要である。一般的な人間同士の付き合いと同じく投稿す

るトーンやマナーを一貫させ、コメントにも応えていくことが信頼やファンを得る王道であり、関係を広げるポイントとなる。

トーンやマナーのサービスが分らない場合は、自分の気に入ったページで「何を伝えたいのか」「誰に伝えたいのか」を明確にすることがポイントではないかと思われる。（但し、パクリはいけません）

また、スマートフォンでYouTubeを利用する人も3,000万人を超え、今後は動画を用いた情報発信も積極的に導入してもよいかもれない。

このように情報発信支援員は、様々なITツールの中から会員の皆様の目標に適した形で継続的に支援をしており、巡回サポートは無料。

ITに関するご相談、ご依頼がありましたらお近くの商工会までご連絡ください。


中小企業の皆様を融資でバックアップ!

兵庫県神戸市中央区花隈町6番19号

兵庫県商工連協同組合

理事長 木南岩男

確実にやるのはどこでもできる。確実に速くやるからこそ「価値」になる。



三井住友銀行
LEAD THE VALUE
三井住友フィナンシャルグループ

篠山市商工会

商工会が初めて取り組む中期計画

経営発達支援計画 近畿管内で唯一の認定

「いずれ商工会にとって必要な認定なら、早いほどハードルが低いのではないか」そんな不純な動機で第1回の申請に手を上げた。

12月22日の説明会を受けてから提出までの期間がタイトなので完成できるか不安もあったが、職員の年長者から6人がチームとなり、担当のパーツ(項目)を分けて素案を持ち寄ったのが12月31日だった。

経営発達支援計画の意義など

誰も解っていないなかったので、ガイドラインに沿って、現在手掛けている商工会事業を結びつけただけの計画書がベースとして出来上がった。それから、2度・3度と協議し、篠山風に色づけしていったというのが経緯だ。

元々篠山市商工会は合併商工会がよく方向性を定める経営支援に特化した商工会ではない。それだけに、「認定」は難しいだろうと思っていた。その心配を確信に変えるかのように、県



▲TanbaStyleで個社支援と儲かる地域づくり(グランフロント大阪にて)

の認定となり、最も驚いているのは私たち本人だと思う。

7月15日の発表以来、数々の関係者に計画を読んでもらった。「具体的に解りやすい」との感想がほとんどだが、その本意は「この程度の計画が認定されるの?」というところだろう。今回の認定の要因を探ってみると、

- ① 職員の手づくりなので、背伸びしていない。
- ② 「儲かる地域づくり」を意識して作成した。
- ③ 津田県連合会チーフアドバイザーの「中企庁からの個別指摘事項」への対応と「評価項目」を意識した表現方法

のアドバイスが的確だった。

そして、篠山市商工会の「実践力」が認められたのならありがたいのだが…。

今後は、商工会が初めて取り組む中期計画を、まずは全職員が深く理解し、次に役員が我が事と意識し、そして会員に的確に広報していくことが大切だと認識している。

外部検討委員の評価・検証を受け、PDCAを回しながら粛々と進めたい。

(篠山市商工会
事務局長 原田 豊彦)

6

労働環境対策事業

西播磨地域商工会

合同企業説明会開催 48社が参加

西播磨出身者を地元の優良企業に

西播磨地域商工会振興協議会(小河清之会長)は、去る7月22日、たつの市の国民宿舎「志んぐ荘」で『西播磨地域商工会合同企業説明会』を開催した。

これは、特に地方の中小・小規模事業者において、人手不足

が顕著となっている現状を鑑み、求人活動と優秀な人材確保

を支援することを目的とし、県連合会の「労働環境対策事業助成金」を活用し、西播磨地域人材確保協議会の協力を得て、同地区の5商工会(たつの市、宍

粟市、太子町、上郡町、佐用町)が共同で実施したもの。求職者は、来春卒業見込者及び一般求職者(概ね44歳まで)とし、求人企業は48社が参加した。

当日は、リクルートスーツを着込んだ求職者約80人が来場し、受付で渡された参加企業が掲載された資料を手に、笑顔で企業担当者と接する場面も見受けられた。また、会場入口付近には「ハローワーク姫路」及び「は

りまっち」の相談コーナーも設置された。

学生の就職率は、回復傾向にあるものの、実体は依然として厳しい状況にあり、企業にとっても人材確保は大きな命題となっていることから、双方にメリットのある事業となった。また、西播磨地域出身の学生等も多く参加していたことから、地元にも多くの優良企業があることを知ってもらおう良い機会となった。



▲合同企業説明会の当日の様子